



2025年2月7日

各位

会社名 プロパティデータバンク株式会社  
代表者名 代表取締役社長 武野 貞久  
(コード番号: 4389 東証グロース)  
問合せ先 常務取締役 管理部門管掌 大田 武  
(TEL. 03-5777-3468)

### 2024年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025年2月7日開催の取締役会において、2024年5月14日に公表いたしました2025年3月期(2024年4月1日～2025年3月31日)の通期業績予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 通期業績予想の修正について

##### (1) 当期の通期業績予想数値の修正(2024年4月1日～2025年3月31日)

##### ○連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 3,980	百万円 830	百万円 830	百万円 570	円 銭 97.39
今回修正予想(B)	3,300	830	830	570	97.21
増減額(B-A)	△680	0	0	0	—
増減率(%)	△17.1	0.0	0.0	0.0	—
(ご参考)前期実績 (2024年3月期)	2,516	434	437	298	51.32

##### ○個別業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 3,030	百万円 698	百万円 698	百万円 485	円 銭 82.86
今回修正予想(B)	2,853	850	850	600	102.32
増減額(B-A)	△177	152	152	115	—
増減率(%)	△5.8	21.8	21.8	23.7	—
(ご参考)前期実績 (2024年3月期)	2,286	442	444	309	53.25

(2) 業績予想修正の理由

○連結業績

プロパティデータバンク社の中核事業である「@property」において、クラウドサービス事業は順調に拡大し想定範囲内で推移しております。ソリューション事業は先期からの継続案件に関して確実な対応を進めましたが、今期の予想をやや下回る事となりました。

子会社や新規サービスにおいては、プロパティデータテクノス社における不動産文書管理サービスが継続的な営業活動が実を結び前年比で大幅増となりました。さらに BIM を活用したサービスやデータサイエンスに関する案件、生成 AI を活用した案件など、プロパティデータサイエンス社及び新規サービス関連でも進展が見られましたが、想定ほど業績が拡大しませんでした。それにより、通期の連結売上見通しを下方修正しております。

(参考情報)：売上高増減表

単位：百万円		前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B) - (A)
売上高 (連結)		3,980	3,300	△680
プロパティデータバンク	クラウドサービス	1,790	1,778	△12
	ソリューションサービス	1,240	1,075	△165
プロパティデータテクノス		300	231	△69
プロパティデータサイエンス		300	27	△273
新規サービス		350	202	△148
内部取引消去		-	△13	△13

○個別業績

売上高は期初見通しと比較し未達となったものの、前年比では大幅な進捗となりました。クラウドサービス事業は順調に拡大を続けており、BIM関連の売上も増加しております。一方、ソリューションサービスに関しては、大型案件のカスタマイズ案件も順調な進捗をみせ、前年比では大幅な進捗を見せております。

利益面に関しては、売上原価と販売費及び一般管理費について効率的な運用を行った事で期初見通しを上回る結果となりました。

※詳細については、本日開示の「2025年3月期 第3四半期決算短信補足説明資料」10ページにも記載しておりますのでご参照ください。

(注) 業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の数値は、様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

以 上